

事業の実施状況

(1) リハビリテーション医療事業

A 入退院患者の状況

ア 1日平均入院患者数

	令和2年度	令和元年度	増減
患者数(人)	83.5	79.5	4.0

イ 患者数の状況 (単位:人)

令和元年度末 入院患者数	令和2年度 入院患者数	令和2年度 退院患者数	令和2年度末 入院患者数
81	427	426	82

<参考>

平成30年度末 入院患者数	令和元年度 入院患者数	令和元年度 退院患者数	令和元年度末 入院患者数
79	345	343	81

ウ 平均在院日数

	令和2年度	令和元年度	増減
在院日数(日)	70.5	88.4	△17.9

エ 退院先

令和2年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数(人)	329	70	27	426
構成割合(%)	77.3	16.4	6.3	100

<参考>

令和元年度	自宅	病院	その他	合計
退院患者数(人)	267	44	32	343
構成割合(%)	77.9	12.8	9.3	100

オ 入院患者の疾患別内訳

令和2年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数(人)	288	23	74	9	33	427
構成割合(%)	67.4	5.4	17.3	2.1	7.7	100

<参考>

令和元年度	脳血管 障害	神経系 疾患	外傷性 疾患	骨関節 疾患	その他	合計
患者数(人)	224	24	48	24	25	345
構成割合(%)	64.9	7.0	13.9	7.0	7.2	100

カ 主な保健医療圏別患者数 ※前掲(1)Aイの入院患者数の内訳

令和2年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数(人)	213	47	20	34	31	16	42	24	427
構成割合(%)	49.9	11.0	4.7	8.0	7.3	3.7	9.8	5.6	100

※その他の内訳:久慈8人、両磐6人、県外10人

<参考>

令和元年度	盛岡	岩手 中部	宮古	二戸	気仙	釜石	胆江	その 他	合計
患者数(人)	158	37	37	17	17	17	45	17	345
構成割合(%)	45.8	10.7	10.7	4.9	4.9	4.9	13.0	4.9	100

※その他の内訳:久慈3人、両磐6人、県外8人

キ 平均年齢 (単位：歳)

令和2年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	65.4	63.4	64.0

<参考> (単位：歳)

令和元年度	男性	女性	合計
入院患者平均年齢	61.9	66.2	63.3

B 外来患者の状況

令和2年度	常設診療科	非常設診療科							計
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	
患者数 (人)	3,513	443	47	108	781	102	439	0	1,920

<参考>

令和元年度	常設診療科	非常設診療科							計
		泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	歯科	循環器内科	糖尿病代謝内科	精神科	
患者数 (人)	3,838	610	60	87	729	205	167	0	1,858

C 患者数の状況

ア 入院患者及び常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
入 院	延患者数	30,489	29,105	1,384	
	1日平均患者数	83.5	79.5	4.0	
外 来	延患者数	3,513	3,838	△325	
	1日平均患者数	14.5	16.0	△1.5	

イ 非常設診療科外来患者の状況 (単位：人)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	備 考
泌尿器科	443	610	△167	
耳鼻咽喉科	47	60	△13	
眼 科	108	87	21	
歯 科	781	729	52	
循環器内科	102	205	△103	
糖尿病代謝内科	439	167	272	
精神科	0	0	0	休診中

D 訪問事業の状況

令和2年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	42	5
延訪問回数 (回)	2,342	263

<参考>

令和元年度	訪問リハビリ	訪問看護
実利用者数 (人)	40	6
延訪問回数 (回)	2,430	306

E 通所事業の状況

令和2年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	24
延利用回数 (回)	691

<参考>

令和元年度	通所リハビリ
実利用者数 (人)	14
延利用回数 (回)	485

F 市町村等への情報提供

地域で連続して保健指導や各種のサービスが受けられ、生活の確保が出来るように支援するため、退院時診療情報提供票、退院時看護要約、機能回復療法部報告書を居宅介護支援事業所等と市町村に情報提供を行った。

令和2年度	155件
令和元年度	139件

(2) 地域支援事業

A 市町村支援事業

要請の市町村への支援

- ① 雫石町地域包括ケア・多職種連携会議、自立支援サポート会議等への出席
派遣回数6回、派遣職員数延15人
- ② 市町村主催の「シルバーリハビリ体操3級指導者養成事業」講師等派遣
派遣回数8回、派遣職員数延10人、被指導者数延72人

B 地域リハビリテーション関係職員研修会

県内保健医療圏毎に地域リハビリ関係者に対し研修会を実施
開催回数3回、派遣職員数延22人 被指導者数延55人

C リハビリテーション情報の提供

リハビリテーション活動の紹介や最新情報を掲載した情報誌「ななつもり」を、年4回ホームページに掲載し発信した。

D 広域支援センター支援事業

- ・地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会を2回WEB開催（9月1日、3月9日）
- ・広域支援センター・保健所等との連絡調整、話題提供、研修会への講師派遣等
3圏域、4回（うち2回WEB開催）、従事職員数延7人

E 介護予防研修会等

「高齢者健康・体力づくり指導者セミナー（岩手県スポーツ振興事業団主催）」講師派遣
派遣回数1回、派遣職員数1人、被指導者数66人

F 高次脳機能障害者支援普及事業

県内の支援拠点機関としての支援体制の整備を図り、専門的な相談支援及び支援普及の事業を実施。
・相談支援コーディネーター4名及び地域支援コーディネーター4名を配置し、専門的な相談支援及び関係機関との連絡調整を行った。

相談件数延べ1,170件、実人数97名

- ・支援ネットワーク構築のための連絡協議会の開催
オンラインで2回開催、出席者数延べ43名
- ・具体的な支援の検討を行うための圏域相談支援コーディネーター会議の開催
オンラインで1回開催、出席者数延べ14名
- ・支援の普及に向けた研修会の開催

新型コロナウイルスの流行状況を鑑み、集合研修は中止とした。

高次脳機能障害の基本的知識と対応方法についての動画11本を作成。

いわてリハビリテーションセンターのYouTubeチャンネルで配信した。

- ・普及啓発を目的に当事者・家族を中心とした交流会を開催

新型コロナウイルスの流行状況を鑑み、交流会は中止とした。

高次脳機能障がい当事者・家族が自宅で出来る自主トレプログラム集を500部作成。

「100円グッズを使って家庭でできる！脳と体を鍛える自主トレプログラム」

家族会や地域支援拠点機関等に配布した。

- ・地域における支援体制整備のための支援
感染状況に配慮しながら、県内8圏域の地域拠点機関と協働し、地域支援体制の整備を図った。
- ・事業周知のためのPR・広報活動の実施
ホームページやメールニュースを通じて理解と支援の拡大を図った。
「高次脳機能障がいカルタ」を1,000セット増刷し、地域包括支援センター等に配布した。
「高次脳機能障害PR用エコバック」を500個作成し、地域支援拠点機関等に配布した。

G シルバーリハビリ体操指導者養成事業

14市町村に対し、高齢者を対象に体操指導者を養成し、地域住民が運営する介護予防及び通いの場づくり等の円滑な実施の支援を行った。

- ・1級指導者養成講習会（4日間）及び実習（5日間）等
開催回数1回、従事職員数延41人、養成数11人
- ・2級指導者養成講習会（4日間）
開催回数2回、従事職員数延47人、養成数35人
- ・3級指導者養成講習会（5日間）
開催回数3回、従事職員数延84人、養成数27人
- ・フォローアップ、通いの場の評価等
開催回数2回、従事職員数延2人、被指導者数39人
- ・指導者養成事業に係る講演会及び指導者交流会
開催回数1回、従事職員数10人、参加者数15人

H 補装具相談会の開催（岩手県福祉総合相談センターからの依頼事業）

来所相談

担当医師名	相談回数 (開催地)	補装具相談件数（非該当を除く）						計
		義手	義足	装具	車椅子	座位保持装置	その他	
佐藤義朝 阿部深雪	11回（盛岡市： 岩手県福祉総合 相談センター）	10件	116件	33件	23件	3件	10件	195件

(3) 教育研修事業

A 保健福祉等高齢者施設職員等研修会

- ・高齢者保健福祉施設リハビリテーション研修会（2日間） 開催回数1回、受講者数延56人

B 患者家族教室

栄養教室 開催回数12回、参加者数延73人（面会制限により患者のみ対象）

C 学生受け入れ

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の学生受け入れ
延15校、実121人(延633人)

D リハビリテーションセンター体験学習

インターンシップ 2回、4人、岩手医科大学医学部介護体験実習 2回、16人（延32人）

F 講師派遣

学生講義、施設職員対象研修等 28回、受講者数延1,177人

G 院内職員研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修形式を主に人数を分散してのスライド視聴・メール配信による個人視聴等として開催。

参加者数延1,110人

- ①6月 テーマ「医療安全①～管理の必要な薬品の取り扱いと医療安全について」(スライド視聴4回)
講師 薬剤科長 伊藤禎人

- ② 7月 テーマ「院内感染①～新型コロナウイルス感染症対策について」(スライド視聴4回)
講師 院内感染管理者 川村将史
- ③ 8月 テーマ「医療機関等向けサイバーセキュリティ個人情報の保護」(配信個人視聴)
- ④ 10月 テーマ「AED 実技講習～一次救命処置 (BLS) について」(3回+各病棟)
講師 医師 佐藤義朝、森潔史、遠藤英彦
- ⑤ 10月 テーマ「褥瘡関連」(各部で研修、eラーニング、資料配布等)
- ⑥ 11月 テーマ「ストレスとセルフケア」
講師 岩手県医学予防協会 臨床心理士 乙茂内美以子
- ⑦ 2月 テーマ「院内感染②～新型コロナウイルスワクチン接種にむけて」(配信個人視聴)
講師 院内感染管理者 川村将史
- ⑧ 3月 テーマ「医療現場で必要とされる接遇～ホスピタリティ～」(配信個人視聴)
講師 主事 吉沢秀子
- ⑨ 3月 テーマ「医療安全②～医療ガス安全管理講習会」(資料配布)

H 普及啓発

- ・いわてリハビリテーションフォーラム
一般県民に対するリハビリテーションの普及啓発
開催日 令和2年10月24日(土) 場所 アイーナ 来場者数240人

(4) 調査研究事業

医学的リハビリテーション技術の向上と障害者の福祉の向上を図るため、調査研究事業を行っている。

研究内容

A 令和2年度研究発表業績

ア診療部

医局

1. 橋本脳症の再燃が疑われ、高次脳機能再評価が病態解明に寄与した一例
いわてリハビリテーションセンター診療部○森潔史、佐藤義朝、大井清文、阿部深雪、村上英恵
岩手医科大学・リハビリテーション科 西村行秀
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2020年8月19日
2. 高解像度マンOMETRYによる多系統萎縮症(MSA-C)の嚥下障害の経時的評価
いわてリハビリテーションセンター診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、村上英恵、大井清文
岩手医科大学・リハビリテーション科 西村行秀
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2020年8月20日
3. 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成事業による平成30年度までの4年間の活動の拡がり
と課題について
いわてリハビリテーションセンター診療部○大井清文、佐藤義朝、阿部深雪、森潔史、村上英恵
岩手医科大学附属病院・リハビリテーション医学科 西村行秀
第57回日本リハビリテーション医学会学術集会 京都府(WEB) 2020年8月21日
4. 脳梗塞後にCRPSを発症し、ボツリヌス療法が感覚過敏に有効だった一例
いわてリハビリテーションセンター・診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、遠藤英彦、熊谷瑠里子
大井清文
岩手医科大学・リハビリテーション医学科 西村行秀、西山一成
第48回日本リハビリテーション医学会東北地方会 青森県青森市(WEB) 2020年10月3日
5. 嚥下内視鏡検査にて垂直位の喉頭蓋が誤嚥リスクとなった一例
いわてリハビリテーションセンター・診療部○佐藤義朝、森潔史、阿部深雪、遠藤英彦、熊谷瑠里子
大井清文
岩手医科大学・リハビリテーション医学科 西村行秀、西山一成
第49回日本リハビリテーション医学会東北地方会 宮城県(WEB) 2021年2月27日

イ 看護部

6. 短期記憶障害による抑うつ症状を伴った患者への生活場面でのリハビリテーション効果
○兼子枝都恵

日本リハビリテーション看護学会第32回学術大会（電子配信）2020年11月

7. 大腿骨頭部骨折のリハビリテーション目的で入院した認知症高齢者に対する看護と介護の共同に関する報告

○小野沢美佳、中村令子（東北福祉大学健康科学部保健看護学科）

第13回岩手看護学会学術集会 2020年10月31日～11月16日（オンデマンド配信）

ウ 機能回復療法部

理学療法科

8. 外出・外泊時の転倒減少に向けた多職種協働による患者・家族指導の取り組み

○中村一葉、山本晶子（OT）、西館初美、後藤由美、上斗米律子（Nrs）、森潔史（Dr）

回復期リハビリテーション病棟協会 2020年度研究発表会(WEB) 2021年3月1日～2日

作業療法科

9. 上肢近位部へ随意運動介助型電気刺激装置(IVES)を併用しCI療法を行った症例

○千葉聖也、山本晶子

第30回東北作業療法学会 福島県郡山市(Web) 2020年9月5～24日

FIM理解向上にむけた取り組み～院内研修会の結果から見えた現状と課題～

○長山悦子、高山菜、鷹觜悦子、大井清文(診療部)

回復期リハビリテーション病棟協会 2020年度研究発表会(WEB) 2021年3月1日～2日

臨床心理科

10. 高次脳機能障害支援ツール「高次脳機能障がいカルタ」を通じた今後の普及活動に関する一考察

高次脳機能障がい支援担当者○吉田賢史、大江みづほ、上田大介、阿部深雪、村上敏昭、後藤敦博、村田美歩、八重樫一洋（地域支援部）、大井清文（診療部）

回復期リハビリテーション病棟協会 2020年度研究発表会(WEB) 2021年3月1日～2日

B 院内研究発表会

院内職員の研究への意識付けや理解のために毎年、年2回実施している。（令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、1回のみ開催となった）

ア 第52回院内研究発表会 2020年3月5日～3月25日（オンデマンド配信）

1. 脳梗塞後にCRPSを発症し、ボツリヌス療法が感覚過敏に有効だった1例

診療部：佐藤義朝

2. 大腿骨頭部骨折のリハビリテーション目的で入院した認知症高齢者に対する看護と介護の協働に関する報告

看護部：小野沢美佳

3. 回復期病棟脳卒中患者におけるFugl-Meyer Assessment各項目得点とFIM運動項目との関係
理学療法科：山下浩樹

4. 上肢近位部へ随意運動介助型電気刺激装置(IVES)併用しCI療法を行った症例

作業療法科：千葉聖矢

C データベース構築及び運用（予後予測システムの構築）

ア データベースソフトの構築

イ データベース入力手順の取り決め及び運用

ウ データベース入力（約5195症例）

エ 予後予測式の作成および精度の検討

D 動作解析装置運用に関して

ア 機器の精度の検討

イ 測定法、データ分析の指導を受ける（片麻痺患者の運動解析、健常者における運動機能分析）

ウ 健常者、患者の動作計測

エ 学会等で発表

オ センター職員への教育

E 研究開発部からの派遣

県外で行われている、イベントや研修会に参加し最新の知識を吸収し、研究や臨床、県内専門職への情報提供に生かしていく。

ア 第47回国際福祉機器展 2020年10月21日 (Web)

作業療法科 吉田 健

F 研究開発部センター内情報発信活動

ア 研究開発部マガジン (1回/月、院内向け) No. 323~333 発行

イ これってな〜に?? (1回/月 院内向け) No. 111~122 発行

院内向けに、最新の研究や学会情報などを発信し、研究活動に活かしてもらう。

- ・ホームページの紹介
- ・リハニュース 福祉機器の紹介
- ・トピックス
- ・学会、研修会情報
- ・研究発表演題の紹介

G 研究活動の支援

ア 文献検索システムの管理、運営、マニュアル作成

イ 動画編集システムの管理、運営

ウ 統計処理のアドバイス

エ 統計勉強会

H 現在進行中の研究

臨床の中で継続的に検討しているものも含めて、下記のような継続研究テーマを持っている。

ア 脳血管障害者、頭部外傷者における高次脳機能障害の評価に関する基礎研究

イ モーターコントロール (運動制御) に関する基礎研究

ウ 四肢切断者に関する義手、義足の適合に関する検討

エ C I 療法に関する研究

オ 嚥下障害に関する基礎研究 (V F 検査も含む)

カ 福祉用具、福祉機器に関する調査、研究

キ 脳卒中片麻痺患者の動作分析

ク 脳卒中片麻痺患者の機能回復に関する予後予測

ケ 失語症者における聴覚機能に関する研究

コ 車いすシーティングにおける基礎的研究

サ 自動車運転シミュレーターを用いた多発性硬化症患者における自動車運転能力の研究

シ 脳卒中者に対する理学療法実施量が患者の機能および能力の改善にあたる影響についてのクラウドシステムを利用した大規模調査

I その他

ア いわて医療機器事業化研究会研修会参加、協力

イ 先進医療機器等開発プロジェクトへの協力

ウ リハビリテーションの提供に関わる総合的な調査研究 (リハビリテーション医学会)

エ 戦略的研究開発推進事業研究実施プロジェクトへの参加・協働研究

オ 県立大学と共同研究 ①失語症と聴覚機能の評価②失語症者向け自主練習用アプリの開発

カ データベース構築に関するシステム開発